

| 7つの柱 | 項目 | 国の目標(根拠) | 市の目標 | 実績(令和2年度末) |
|-----------|----------------------------|---|----------------------------------|---|
| ① | 認知症サポーターの養成 | 1,200万人 (高齢者人口3人に1人) | 24万人 | 227,026人 |
| ② | 初期集中支援チームの設置 | H30年度より全市町村 | 全区に設置 | H26年度より1区でモデル実施 H27年度より3区に設置 H28年度より全区に設置 |
| | 認知症地域支援推進員の設置 | H30年度より全市町村 | 全区に設置 | H28年度より全区に設置 |
| | 認知症疾患医療センター | 500カ所 (2次医療圏域に少なくとも 1センター以上設置) | H21年度に 地域型3カ所 設置 | H29年度に連携型3カ所設置 (計6カ所) |
| | 認知症サポート医養成研修 | 1万人 (一般診療所10カ所に対して1人のサポート 医を配置) | 340人 | 195人 |
| | かかりつけ医認知症対応力向上研修 | 7.5万人 (高齢者人口約470人に対して1人) | 1,500人 | 1,693人 |
| | 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力 向上研修 | 22万人 (1病棟につき受講者10名以上) | 8,120人 | 3,412人 |
| | 歯科医師認知症対応力向上研修 | 2.2万人 (歯科診療所の歯科医師のうち4人に1人 以上が受講) | 650人 | 273人 |
| | 薬剤師認知症対応力 向上研修 | 4万人 (薬局の薬剤師のうち4人に1人以上が受 講) | 1,000人 | 724人 |
| | 看護職員認知症対応力向上研修 | 2.2万人 (半数の看護師長が受講) | 480人 | 351人 |
| | 認知症介護実践者研修 | 30万人 (これまでの認知症介護実践リーダー研修及び認 知症介護実践者研修の受講者の動向割合から 算出) | 6,250人 | 5,653人 |
| | 認知症介護実践リーダー研修 | 5万人 (これまでの認知症介護指導者研修及び認知 症介護実践リーダー研修の受講者数の動向割 合から算出) | 600人 | 471人 |
| | 認知症介護指導者養成研修 | 2,800人 (これまでの受講者数の動向から算出) | 53人 | 50人 |
| 認知症介護基礎研修 | 認知症介護に携わる すべての職員の受講 | 認知症介護に携わるす べての職員の受講 | 989人 | |
| ③ | 若年性認知症に関する事業の実施都道府県 | コーディネーターの資質向上 好事例の横展開の推進 | 若年性認知症について好 事例の横展開の推進 | ・各区地域支援推進員の 研修・連絡会の実施 ・若年性セミナー(府市共催) |
| ④ | 認知症カフェ等の設置 | 全市町村 | 各カフェにおける好事例を 伝える 各カフェの詳細把握 | 137カ所のうち 20カ所の詳細把握 (他は休止等) |

(参考) 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン) 7つの柱

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- ③ 若年性認知症施策の強化
- ④ 認知症の人の介護者への支援
- ⑤ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥ 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- ⑦ 認知症の人やその家族の視点の重視